

公害防止管理実施状況調査のうち、  
効果的な公害防止の取組の促進措置開発調査

3百万円（3百万円）

水・大気環境局総務課

1. 事業の概要

ここ数年、一部の事業者において排出基準の超過や測定データの改ざん等の公害防止に関する不適正事案が散見されている。これらの事案の原因としては工場内における公害防止管理体制が不十分であること、企業と地方自治体や地域住民とのコミュニケーションが不足していること等が挙げられる。

こうしたことから、事業者の公害防止管理の充実に向け、公害防止管理者等の質の維持・向上、事業場における適切な公害防止組織体制の整備及び公害防止のための適切な取組の充実が求められている。

そこで、公害防止管理者等の有資格者に対する定期的なフォローアップの実施状況、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」の対象となる特定工場における公害防止管理体制の実態、について詳細な調査を実施する。

また、その結果を踏まえ、事業者の適切な公害防止取組を促進するため、公害防止管理者等の能力を發揮させる組織体制のあり方、事業場における公害防止に向けた適切な取組方針の策定手法、自主評価の実施手法、それらの結果を踏まえた事業者と地方自治体等との間の適切なコミュニケーション手法の開発を行う。

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22
公害防止管理体制の実態調査	→		
適切な公害防止取組方策の検討	→		
・公害防止体制のあり方及び公害防止取組方針の検討		→	
・事業者の自主評価手法及びコミュニケーション手法の検討	→		→

3. 施策の効果

事業者の適切な公害防止取組の促進により、排出基準の超過やデータの改ざん等、不適正事案が減少し、もって公害防止に資する。

4. 備考

調査費 3,259千円 (内訳) 公害防止管理体制の実態調査  
公害防止促進方策検討調査